

表2 ロングホームルームの展開例

主 題	高校生活の充実のために（6月11日6校時実施）	
主題設定の理由	高校入学後初めての定期考査が終わり、高校生活について、特に学習上の不安や悩みが多くなる時期なので、悩みの解決への糸口を探らせて、より充実した高校生活を送らせるようにする。	
指導目標	○不安や悩みを持つ者が自分だけではないことを認識させる。 ○不安や悩みを解消するための取り組みについて話し合わせ、それを解決するための糸口を考えさせる。	
資 料	進路ノートP.9～10 悩みについてのアンケート	
過 程	学 習 内 容 と 学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
導 入	○本時のねらいを理解する。 ○中学校時代の生活と高校入学後の生活を比較し、違いを話し合う。	○誰でも不安や悩みを持っているのであり、それを率直に出すことが解決の糸口となることを話す。 ○ここからはHR運営委員に司会をさせる。 ○事前に進路ノートにまとめさせておく。 ○特に、授業・家庭学習・部活動における違いをはっきりさせる。
展 開	○現在の高校生活上の悩みについてのアンケートの結果を知る。(24ページ図3参照) ○進路ノートに、級友の悩みを多い順に3つ書く。 ○学習上の悩みを解決するためにどのようにしているか、またはどのようにしたらよいかをグループごとに話し合う。 ○各グループの話し合いの結果を代表者から聞く。 ○成績の良い者が勉強にどのような工夫をしているかを聞く。 ○友人の意見を聞いて参考になったこと及び悩みの解決のために心がけるべき事柄を進路ノートにまとめ発表し合う。	○あらかじめアンケートをとり、HR運営委員に集計させておく。 ○アンケートの結果、学習上の悩みが最も多かったので、これに話題をしぼる。 ○各グループを巡回し、適宜指導する。 ○司会者もグループの一員として話し合いに入らせる。 ○抽象論にならないように、次のような悩みをどうするかについて具体的に率直に出させる。 ●勉強の仕方がわからない。 ●勉強についてやる気が起きない ●家庭では勉強に集中できない。 ○3～4名の者に、あらかじめの発表を予定させておく。少なくとも1名は部活動にも頑張っている者にする。 ○勉強についての悩みがない者については、今後の勉強の目標についてまとめさせる。 ○恥ずかしがらずに発表させる。
終 末	○教師のまとめを聞く。	○進路希望を確立することが学習の深まりを促す契機となることを、卒業生へのアンケート結果を示しながら話す。 ○4月に立てた学習計画を各自見直すことが大切であることを話す。担任のコメントを書いた後、保護者にも書いてもらう。

反省と評価

- 中間考査後、悩みを持つ者が増えており、内容は時宜を得たものであった。しかし、主題については、初めから「学習上の悩みを解決しよう」とした方が良い。
- 話し合いの時間を十分にとって内容をより深めたかった。
- 悩みを持つ者が自分だけではないことを知り安心した生徒もいる。
- 生徒間及び生徒と教師の信頼関係なしには悩みを率直に出し合うことができにくいので、今後とも信頼関係づくりを努めることが大切である。
- HR運営委員には事前に十分に指導を加えたが、まだ話し合いの結果をまとめる力には欠ける。